

令和4年度 第3回 岡山県文化振興審議会

日時：令和5年2月13日（月）14時～15時30分

場所：おかやま旧日銀ホール（ルネスホール ワークルーム）

1 開会 あいさつ

【環境文化部文化スポーツ振興監】

- ・ コロナが一段落し、様々な文化活動が復活する状況になってきた。特に今年は、岡山市で芸術創造劇場も完成するが、文化の中で様々な動きが拡大し、文化全体が盛り上がっていくことで、街の活性化につながっていくと考えている。
- ・ おかやま文化振興ビジョンの中間見直しについて、昨年6月以来、様々な御意見を頂戴してきたことにお礼を申し上げます。本日は、その最終案の答申をお願いしたい。併せて、本年度の文化振興施策も報告させていただきたい。委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 議事 ・おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)の中間見直し(案)について

【事務局から資料に基づき説明】

【議長】

- ・ 事務局からの説明について、委員の皆様から意見があれば、挙手の上、発言をお願いしたい。

《意見なし》

- ・ 答申書の作成について、私に一任していただきたいがよろしいか。

《全員了承》

- ### 3 議事
- ・ 令和4年度文化振興課実施主要事業について
 - ・ 岡山文化振興ビジョン(2018-2027)の進捗状況について
 - ・ 令和5年度重点事業について

【事務局から資料に基づき説明】

【議長】

- ・ 事務局から説明があった自己評価は、本当はもっと高い評価としても良いものを遠慮して書いているような気がする。このコロナ禍で活動することはとても大変だったのではないかと思う。

【委員】

- ・ 重点事業でアートマネジメント研修による人材育成の取組が記載されているが、県北には、地域に定着してみんなと一緒にアートを展開する若い人がいない。県南で勉強した人で、県北まで持ってこようという人もいない。県北でがんばっている人達と一緒に文化的なことを行ってくれる人が、県北にも来るよう、県にもがんばっていただきたい。
- ・ 自治体によって文化への力の入れ方に差がある。がんばっている姿が見える人は応援するが、救ってほしい人たちやアーティストなどには目を向けない自治体もある。県南で享受できているものを県北の人たちも享受できるよう、目を向けてもらえない分野の支援を行う人材の派遣などを県にお願いしたい。
- ・ 岡山県立美術館には大勢の子どもたちが見に来ると思うが、県北では、親が興味を持たなかったら子どもたちが芸術作品などを見る機会がない。学校の遠足などの目的地の中に美術館を組み込むことを、県からお願いしてほしい。子どもたちがビックリするような、目が覚めるような思いを持つ子が出るような機会を県北にも広げていただきたいと感じる。

【議長】

- ・ 地方に行くと、本当は素晴らしい感性を持っている方がたくさんいるが、そういう方の琴線に触れる、パッとひらめく場を作ってあげられると良い。

【事務局】

- ・ 講座事業は既に何年も行っており、岡山市、倉敷市以外の県内の様々なところで実施し、平成 30 年度は津山市で行っている。昨年度は早島町で行ったが、講座生の中には県北の受講生の方もおられた。今後、先ほどのアーティストインレジデンス事業や、若手アーティスト支援事業などについても、様々な地域の様々な方に事業を活用していただけるよう、我々も働きかけを行い、県南に偏ることがないように努めてまいりたい。

【委員】

- ・ゼミで美作の活性化に取り組むため、2月の5、6日と学生と美作に行き、現地で調査をしたが、湯郷温泉で見かけたアートの作品が、「実はこういうことだったのか」ということを、今知った次第だ。コロナ禍にもかかわらず、今できる様々なことを、県や現場の方が模索していることが非常によくわかった。
- ・自己評価で、数値目標とは異なる質的な評価がなされており、私もすごく良いと思う。ただ、自己評価と今後の課題において、これが足りなかった、これはもっとできた、といったところを見極められるものにすべきだと思う。
- ・例えば、6ページの美作三湯芸術温度の取組について、今後の課題は、「キュレーター等と連携し取組を進めていく」とあるが、課題というよりも今後の目標という気がする。こういうところが不十分だったから今後はこういうことをやっていく、という流れが、自己評価とそれを生かした課題だと思う。
- ・24ページに、「ポータルサイトは充実できたが、まだ認知度が高くない」という、まさに課題が書かれているが、市町村などに周知を図る際にこういう方法が考えられる、といった具体的な課題に即した具体的な目標や今後の方向性を示してもらえるとありがたい。それこそが、スキルアップ、パワーアップ、ブラッシュアップなどにつながるものだと思う。

【委員】

- ・様々な事業の評価を、定性的な自己評価として示してもらえることは非常にありがたい。一方、自己評価での課題をもっとフランクにたくさん出したほうがいいのではないかという指摘は、私もそうだと思う。レベルではなく、達成したものと、残された課題を具体的に書いたほうが良い。
- ・県北の問題については、いつも一生懸命考えていることだ。例えば、県民文化祭は備前、備中、美作の順に回っていく。備中は南北に長いので、備中で何かを行う際にはなるべく倉敷だけにならないようにと考えているが、備中北部を加えた4か所で回してもよいかもしれない。
- ・美作三湯芸術温度の資料を見て驚いたが、非常にレベルが高い。その反面、すごいことをやっているのに広く知られていないということが少し残念だ。
- ・県北への浸透が不十分だという自己評価が、あまり出てきていないことも問題かもしれない。岡山県、岡山県文化連盟は、南と北で一緒にやっという努力してきたと思うので、ぜひこれからも続けてほしい。
- ・課題の把握が漠然としているという印象はあるが、活動のレベルは非常に高く見事なものだと感じるし、こういうことを他県にもうまく広げてほしい。いつも申し上げているが、日本は全国各地に一流の地方がある国であってほしいと願っ

ており、岡山はそういう地方のトップランナーであり続けてほしいと思っている。

【委員】

- ・ 今後の課題としての提案だが、「目標は達成したがこういう課題が残った」ということを客観的に書くことが自己評価であって、レベルで表す必要はなく、むしろ課題や目標をきちんと書き入れた方が良いのではないか。
- ・ 人材育成は大変重要である。文化は共通言語であり、文化に造詣が深ければ世界に通用するような思考、感性が育まれるので、小さい頃から大事なこととして、文化度を高めるような地域であってほしいと思う。
- ・ 人口の点などから、人材育成事業がなかなかできないという部分をクリアするために、リモート、ウェブ、ネットをより活用した人材育成の手法を考えられたら良いのではないか。さらに、ネットで見ただけではなく現物を見に行きたくなれば県南に行くということもあるだろう。今回のコロナ禍の1つの大きな収穫は、デジタルで様々なことが可能になったことであり、若い人たちはものすごくそういうものに親和性があるので、ぜひそういう活動の仕方を考えてはどうか。

【委員】

- ・ 美作三湯芸術温度の評価は非常に高いと思う。一方で、湯原や奥津などを車で訪れた際、作品が展示されている旅館付近の駐車場所が非常にわかりにくいと感じたので、駐車場の情報提供はもう少し丁寧に行ってほしい。旅館によっては、作品を見たい人が訪れた時にだけ展示場所の照明を点灯するなど、もてなしの度合いが旅館によって違うことに驚いた。
- ・ 今回の岡山芸術交流 2022 はコロナの影響で海外の作家がなかなか来られないので、リモートで企画を立てたケースが多かったのではないかと思う。
- ・ 岡山と関係のある海外の作家が2、3人いたと思うが、美作三湯芸術温度のように地元の人が、絶えず努力しているようには見えなかった。
- ・ 岡山芸術交流は、今後も何億も出してまで継続する企画なのかなと思う。1回予算がついたら次々にということではなくて、思い切って精査してほしい。本当にどういう会計報告をされているのか。広報誌があまりにも無駄に印刷されているだけなのではないか、といったことを強く感じる。美作三湯芸術温度の出来が良いだけに、余計に実際地域の役に立っているのか、という印象を受ける。

- 4 その他
- ・ 部活動の地域移行について
 - ・ 次期指定管理者の選定結果について
 - ・ 教育庁文化財課の主な取組について

【委員】

- ・ ビジョンの施策の方向性として「伝統文化の保存・継承・発展」があるが、関連してユネスコの無形文化遺産の登録について情報共有をしたい。
- ・ ユネスコ側の都合により、単独での登録はできなくなっており、風流踊は、盆踊り、念仏踊りの系統を全部まとめて風流踊として登録している。風流踊の中に、白石踊と大宮踊がある。
- ・ こうした状況を踏まえると、既にユネスコの無形文化遺産に個別に登録されている早池峰神楽や佐陀神能の登録を降ろして、国内で文化財登録された神楽をまとめた「日本の神楽」という一つの括りでの登録にする。その中に備中神楽が入る。
- ・ 備中神楽は非常に特殊であり、ほかの神楽は何々県何々市何々にある神社の氏子を中心で行っているが、備中神楽は違う。備中一円に神楽社中が 30 あるが、それをまとめるのは大変な作業であり、備中一円でそれを支援して、今後の継承を協力できれば良いのではないかと思う。県の方にもぜひお願いしたい。

5 閉会 あいさつ

【環境文化部文化スポーツ振興監】

- ・ 貴重な御意見をいただきお礼を申し上げる。
- ・ 補足だが、県北でも様々な動きが起きており、2年後に、森の芸術祭が県北を中心に行われるが、県北地域の多くの方々に関わっていただき、伝統芸能も含め、地域の良さを見直す、見つけるといったことに引き続き取り組んでいきたい。